

令和6年6月19日

福岡県私学協会 人権・同和教育委員会 福岡地区支部 第1回研修会

福岡県私学協会 人権・同和教育委員会
福岡地区支部 第1回研修会

福岡県私学協会 人権・同和教育委員会 福岡地区支部さんの研修会に講師として呼んで頂きお話をさせて頂きました。

今回の研修会には、福岡地区支部に所属する28の私立高校の代表の先生方が参加されていました。

今回の研修会でお話した内容は、

- ①発達障がいを取り巻く現状
- ②常識とは？
- ③ペアレントトレーニングについて
- ④子どもの意欲を伸ばす大事な視点
- ⑤まとめ

以上の5つです。

私は、普段業務の中で未就学から中学生の子どもたちと関わる事が多く、高校生と関わることはほとんどありません。

しかし、今回高校の先生方のお話を聞かせて頂いたところ、悩みや問題の根本は同じだと感じました。したがって子どもたちの年齢や学年は違えども、私がお伝えしている発達特性を持つ子どもたちへの対応や工夫のポイントは、効果を発揮します。

ただ、全日制である高校ならではの問題としては、必要単位が取れないと進級できないという点です。単位が取れず留年となりそのまま退学になる生徒も少なくないとの事です。

もちろん高校の先生方は、毎日一生懸命生徒のために支援し、進学や卒業させたい気持ちでいっぱいです。

卒業まで学生生活を過ごすためには、子ども一人ひとりの意欲が必要不可欠です。

ただし、発達特性を持つ子どもたちの意欲は、大人側の一方的で焦りを伴う否定的な関わりでは残念ながら伸びません。

大切なのは子ども一人ひとりの立場やペースに合わせた視点を持って関わる事です。

そこで今回の研修会では、子どもたちの意欲を伸ばす大切な視点の具体的なポイントを講義とグループワークを通してお伝えしました。

参加された先生方皆さん子どもたちのために真剣に研修を取り組まれていました。

